

---

I do not want to return.

吹上 香

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

I do not want to return .

### 【コード】

N49060

### 【作者名】

吹上 香

### 【あらすじ】

電車とリア充の甘い小説

(前書き)

リア充なお話

どうも、この閉塞感には耐え難いものがある…  
この密室とも言える空間で人間という生き物が密集しているのだから…

”電車”

僕は基本的に乗り物が嫌いだ  
特に、他人の臭いが密集するところが思いつきり嫌なのだ…

けれども、嫌でも乗らなきゃ、家にも帰れない…  
でも、まあ、家にも帰りたくないのが本心なのだろうが帰らなきゃいけない…

それらを葛藤というのだろうか…

ああ、それにしても眠い…  
学校行事でここまでして遠い場所になんて行きたくない…

『次は、水道橋、水道橋』

アナウンスが聞こえる、もうすぐ家に着く…  
けれども、私は家に帰りたくない  
頭が痛い、痛い痛い

吐き気を催すくらいのおいが私の周りに巻きつきたいそいで、  
私は降りるべきの駅に降り、平気を装い歩いた…

すると、秋の独特な肌寒さで気分が平気になった  
地下鉄だからあの閉塞空間はしょうがない

けれども、あの吐き気はきつと家に帰ることを望んでない、

「お帰り」

「…なんで、ここにいるのよ」

「そろそろ帰ってくるかなって思ってたさ…」

さあ、もう寒いから家に帰ろう、大好きだよ」

肌寒さは顔のほてりと共にどこかへ消えてしまった…

(後書き)

リア充氏ね、爆発して、私のために散ってくれ

って言う気持ちを書きました、リア充の方はごめんなさい

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4906o/>

---

I do not want to return.

2010年10月24日18時28分発行